

令和4年

174号

2022年10月発行

編集/発行：高山市農業委員会

農委と農家

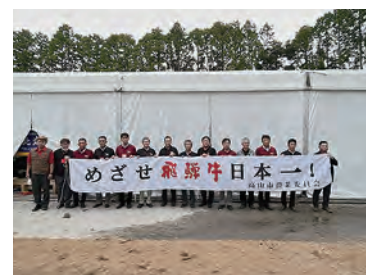


第12回全国和牛能力共進会に向け、10月3日に行われた壮行会の様子

内 容

- ・第十二回全国和牛能力共進会について P1～P2
- ・新委員のご紹介 P3
- ・管内視察報告 P4
- ・市内農業者の表彰について P5
- ・【重要】肥料価格高騰対策について P6

五年に一度、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う第十二回全国和牛能力共進会が十月六日～十日にかけて、鹿児島県内で行われました。岐阜県代表の牛は全て高山市から選出されるなど期待が高まる中、二十八時間もの長距離輸送や気温の変化等多くのハードルを乗り越え、最高順位優等賞三席に輝くなど優秀な成績を収めました。高山市農業委員会でも会期中に応援で会場に駆けつけました。ありがとうございます、飛騨牛!!

飛騨牛、
鹿児島で奮闘

会場でエールを送る農業委員

飛騨牛の 雄姿かがやく 鹿児島で

第12回全国和牛能力共進会 岐阜県代表牛名簿

区	出 品 者		代表牛の名号	結 果	
	住 所	氏 名			
第1区 (若雄)	清見町	岐阜県畜研究所	雪月桜	優等賞15席	
第2区 (若雄の1)	朝日町	橋 本 俊 介	みそら11	優等賞5席	
第3区 (若雄の2)	荘川町	松 木 新 一	かごふく	優等賞6席	
第4区 (繁殖雌牛群)	江名子町	(有)小林農園	ひらかず8	優等賞11席	
	高根町	下 田 広 司	ひかり		
	清見町	藤瀬肉牛農場(有)	ゆめこ		
第5区 (高等登録群)	丹生川町	桑 山 和 男	ゆづき	1等賞3席	
	丹生川町	桑 山 和 男	さくら		
	丹生川町	中 谷 久 治	こうめ		
第6区 (総合評価群) 種牛群	江名子町	(有)小林農園	ひろはな	10位	優等賞 7席
	丹生川町	荒 川 大 悟	ひろたかもり		
	高根町	下 田 広 司	ひなた		
	大洞町	(有)山武ファーム	べにざくら		
第6区 (総合評価群) 肉牛群	国府町	(株)わたなべ	足立広02	3位	
	国府町	(有)牛丸畜産	景龍4		
	清見町	(有)大洞畜産	寿美広85の1		
第7区 (脂肪の質評価群)	清見町	藤瀬肉牛農場(有)	観月	優等賞4席	
	清見町	藤瀬肉牛農場(有)	紀咲来4		
	清見町	藤瀬肉牛農場(有)	景飛驒		
第8区 (去勢肥育牛)	国府町	(株)わたなべ	峰福久03	優等賞3席	
特別区	山田町	飛驒高山高等学校	とももあおば	6席	

全国和牛能力共進会について

全国和牛能力共進会(以下全共)は全国の和牛を一堂に集めて、その優秀さを競う大会です。その規模や和牛ブランドに与える影響の大きさから、別名「和牛の

オリンピック」とも呼ばれます。審査は「種牛の部」と「肉牛の部」の他、今回の全共からはこれまでの「高校の部」に代わり、「高校及び農業大学の部」が新設

されました。全共は昭和四一年の岡山県大会から始まり、今回で二回目の開催です。鹿児島県での開催は第二回全共以来二回目で、同一県で再び開催されるのは初めてのことです。また平成十四年に開催された第八回全共は岐阜県で

開催されています。

十月三日(月)にはJAひだ本店にて壮行会と出発式が行われました。出品者らは田中新市長らから激励を受けるとともに、家族や多くの関係者に見守られる中、鹿児島へとむけて出発しました。



審査会場の様子



関係者へ向け挨拶をする牛丸裕喜氏

新しい委員をご紹介します

高山市農業委員会では、令和四年六月に欠員状態であった農業委員一名と農地利用最適化推進委員三名、合わせて四名の補充をおこないました。

ここでは新たな四名の委員をご紹介します。

▼ 農業委員 ▲

農業は地域から



国府町（東門前）
牛丸 和久
うしまる かずひさ

国府町東門前の「農事組合法人E・Aファーム」を経営しており、水稻を栽培しています。この団体の起源は集落営農です。地域の農家が協力し、機械の共同購入や防除を行ってきた経緯があり、今の形になっています。

今回地元の推薦を受け、また市議会での同意をいただき、農業委員として活動する機会を得

ました。

農業は環境問題から国際情勢まで多くの影響を受ける仕事です。地域の抱える問題もあります。私自身農業委員として、これまで培ってきた「地域の絆」を大切に、課題解決や持続可能な地域農業に尽力したいと考えています。よろしくお願いします。



國島前市長から任命書を受け取る牛丸委員（写真中央）

▼ 農地利用最適化推進委員 ▲

地域の農業を支えたい



丹生川区域（大萱）
中屋 建
なかや たけし

丹生川でトマトを作っています。トマトは高山市の主要な農作物の一つです。丹生川では私も含め、トマト農家が多くいらっしやいます。

皆で協力しながら、地域の農業の課題解決と持続的発展の力になれるよう精一杯頑張ります。

違う視点から



丹生川区域（坊方）
今寺 隆之
いまだら たかゆき

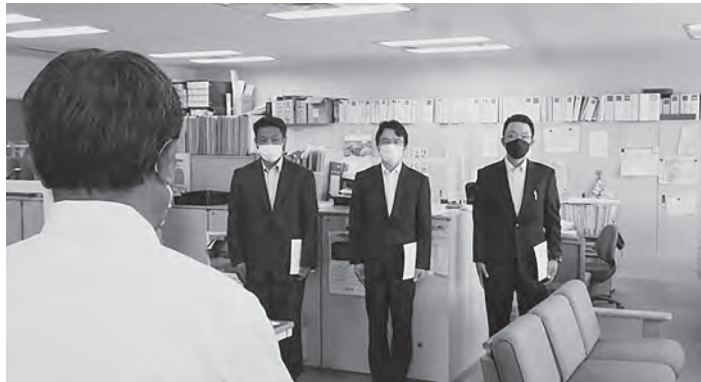
私自身は兼業農家です。今でいう半農半Xです。そのような農業に加えて、多角的な視点から高山市の農業が発展できるように、この農地利用最適化推進委員という立場で協力していきます。

これからの畜産業



高根区域（黍生）
小林 剛史
こばやし つよし

高根で和牛の繁殖をしています。畜産業は高山市の誇りではありますが、国際情勢の影響を強く受けています。このような状況でも地域に根付く強い畜産業を目指すとともに、耕作放棄地の解消など地域の課題に取り組んでいこうと思います。



鴻巣農業委員長から委嘱状を受ける3名の様子

高根地域を訪ねる 管内視察報告

「高根地域を視察しました」

久々野町 平井 浩成
ひらい ひろしげ

農業委員会管内視察が高根町で行われました。視察先は(株)Ferm du soleilという会社で、令和三年に設立されたまだ新しい会社です。

経営内容はサラダ用野菜（ミックスリーフ・マイクロハーブ・エディブルフラワー（食べられるお花））などの水耕栽培です。一作は二週間サイクルで、年間二十四作分の出荷が可能です。クリーンルーム内で農薬を使わず、徹底した衛生管理が行われています。そのため、収穫後2か月たってもおいしく食べられると聞き、驚きました。視察の際にいただいた試食野菜は、真夏の車内に置かれている状況でも、おいしくいただくことができました。

代表の五十嵐氏は農林水産省入省後、外務省職員として農業



五十嵐代表より説明を受ける

大國イスラエル駐在をご経験。退職後、新たな挑戦として高山市の紹介で施設を改修し、乗鞍の水を使い、地元人材を雇用する等過疎化対策にも尽力されています。

加えて、地元経済界と連携し、飛騨高山フードバリアフリー協議会の事務局長への就任、循環型森林プロジェクト代表への就任など実際に行動に移すリーダーシップを垣間見ることができ、私も負けていけないと熱い気持ちが湧いてきました。

「管内研修高根地域視察」

莊川町 清水直喜
しみず なおき

高根地域での管内視察に参加しました。視察先の(株)Ferm du soleilは標高900mほどの上流の地域にあり、周囲も自然豊かで静かな環境です。

この企業は飛騨の恵まれた天然水とLED電気を疑似太陽光として使い、必要な養分と温度を徹底管理し、室内で水耕栽培しています。場所柄、冬には雪深く氷点下二十度になります。室温が通年で一定になるよ



野菜を栽培する施設内で五十嵐代表の説明を受ける様子。委員からは熱心な質問が相次いだ。



う管理しており、一年を通じて野菜や食用花を販売しています。既に市内外の業者との契約を行っており、今後の地域経済をけん引していく意気込みを感じました。

地域の人口が減少する中、この企業では新しい技術を取り入れて、エコでフレッシュな野菜を四季を通じて安全で安心な状態で提供できることがとても魅力的です。地域雇用に積極的な点も好印象を受けました。今年の十月で創業一年を迎えられるそうです。今後の活躍を期待しています。



國島前市長と懇談する下田氏

令和四年五月二十四日（火）、高根町留之原の下田^{しもだはつあき}初秋氏が、岐阜県から功労者表彰を受けました。これは県内の各分野で活躍された方に対し行われます。高根村時代から通算して二十四年にわたる農業委員としての活動が表彰につながりました。

下田初秋氏、県表彰おめでとうございます



六月二十二日（水）には、國島前市長に表彰の報告を行いました。懇談の中では自身がブランド化に尽力されたタカネコーンの話に花を咲かせていました。

その後のインタビューで、自身の畜産業に更に注力し、地域の農業に貢献したいと語った下田氏。生涯現役を誓った下田氏の活躍から今後も目が離せません。

(有)吉野GPファームが内閣総理大臣賞を受賞

農林水産省は令和四年十月五日（水）、当該有限会社で養豚経営の吉野^{よしの}毅^{つよし}氏と聡子^{さとこ}氏が内閣総理大臣賞を受賞したことを発表しました。この賞は過去一年間の各種表彰の中から、特に優秀な事例に対して贈られます。受賞の理由には完全無農薬飼育等の衛生管理、「結旨豚」のブランド化そして女性役職者の積極的な登用等が挙げられました。十一月二十三日（水）には東京都内で表彰式が行われます。

県内最低賃金改定

令和四年十月一日より 時給 880円 → 910円

お知らせ

肥料購入の助成をします

肥料原料価格が世界情勢の影響を受け、農業経営に大きな影響を与えています。それを受けて、国でも農業者に対する支援を始めました。高山市もブランドである飛騨米を守るため、国の支援の対象とならない水稻生産者に対し肥料購入支援を行います。助成率や、助成対象者等それぞれの支援の特色があります。各支援の積極的な活用をお願いいたします。

国支援事業

1. 趣旨

化学肥料の2割低減の取り組みを行う農業者に対して、肥料コスト増加分の **7割** を助成する。

2. 助成対象者

以下の要件を満たす**全ての農業者**（蔬菜・水稻・果樹等）

3. 要件

- ・5戸以上の**販売農業者**グループで申請
- ・化学肥料2割低減を実現するため、取組メニューの中から2つ以上実施

4. 対象となる肥料

令和4年秋肥～令和5年春肥として購入した肥料

※令和4年秋肥：令和4年6月～10月までに購入したもの

※令和5年春肥：令和4年11月～令和5年5月までに購入したもの

5. 助成内容

【助成額】＝肥料コスト増加分 × **0.7**

肥料コスト増加分＝当年の肥料購入費－（当年の肥料購入費 ÷ 価格上昇率 ÷ 使用量低減率）

※価格上昇率：当年と前年の農作物価統計から算出

令和4年秋肥は「**1.4**」倍、令和5年春肥は年明け2月頃に決定の見通し

※使用量低減率：1割（0.9）とする

【取組メニューの例】

- ・土壌診断による施肥設計
- ・育成診断による施肥設計
- ・堆肥、下水汚泥等国内資源の利用
- ・有機質肥料の利用
- ・緑肥作物の利用 …等

肥料購入費が100万円の場合 $[100万 - (100万 \div 1.4 \div 0.9)] \times 0.7 \div 14.4$ 万円

市支援事業

※国支援事業との重複申請はできません

1. 趣旨

飛騨米の産地と小規模農業者を守るため、**国の支援事業の対象とならない水稻生産者**の令和5年水稻作付用春肥購入コスト増加分の **5割** を助成する。

2. 助成対象者

- ・令和4年作水稻共済細目書を提出し、令和5年の水稻作付を確約する**市内水稻生産者**
- ・令和5年から新たに水稻作付を行い、令和5年作水稻共済細目書を提出予定の**市内水稻生産者**

3. 要件

上記国支援事業の対象とならない**市内水稻生産者**

4. 対象となる肥料

令和4年11月～令和5年2月末までに購入した令和5年水稻作用肥料

5. 助成内容

【助成額】＝肥料コスト増加分 × **0.5** ※計算式は国と同一



※WCS用稲含む